



学校だより
6月号

しもつ

令和6年5月22日
海南市立下津小学校



あいさつ 「挨拶から始まる思いやりの心」

下津小学校長 高垣 和生

挨拶とは、ただの慣習や慣例ではなく社交辞令でもありません。言葉や動作を通じて相手に対して敬意や親愛の気持ちを表す行為です。一言の挨拶が、相手に対する思いやりや関心を伝える手段となります。

例えば、おはようという言葉は、本来は、早朝から働いている人に出会って、「朝早くから精が出ますね。」「早くから頑張っていますね。」と声をかける『相手を気づかう言葉』だと言われます。この「早く」という言葉が、「はよう」、そして「はよう」と変化していきました。そこに「丁寧な言葉」を意味する「お」が頭についたのが、「おはよう」という言葉です。単なる「朝の挨拶の『言葉』」ではなく、思いやりを表す言葉だということがわかります。つまり、「挨拶をしよう!」と子どもに呼びかけることは、「相手を気づかおう」「相手を思いやろう」という心に語りかけることとなります。同様に、おやすみなさいは、「今日も頑張りました。明日のためにゆっくり休んでください。」という、自分が寝るときにまだ起きている人たちへの気づかいの言葉です。こんにちはも「今日は」ですので、

「今日はいい日になるといいですね。」と相手を励ます言葉であると言えます。こうして考えると、大きくなってきて「面倒くさいから挨拶しない」と言ったり、「朝、叱られて気分がのらないから挨拶しない」と言ったりすることは、自分中心で相手に対しての意識がないので、挨拶できない理由にはなっていないということがわかります。自分中心の考え方では挨拶にはならないということです。ちなみに、挨拶の「挨」は「近づく」という意味の漢字です。「拶」は「すり寄る」という意味だそうです。つまり、互いの心を近づけ、親しむことがねらいだということがわかります。ですから私も、子どもたちには、「あいさつをしましょう」と言うよりも、相手を思いやろうと働きかけていきたいと思えます。本校の子どもたちはとっても元気よく、丁寧に挨拶してくれます。時には立ち止まってから挨拶してくれる子も少なくありません。相手への思いやりの意識がちゃんとできているのです。この意識が高まることで、思いやりあふれる下津小学校になっていくのではないのでしょうか。これからもさらに思いやりあふれる人として育っていけるよう、学校としても努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご協力もどうぞよろしくお願いいたします。

6月行事予定

日	曜	行 事
1	土	歯口標語・ポスター展 (海南保福センター)
2	日	歯口標語・ポスター展 (海南保福センター)
3	月	セーフティーネット 第1回学校運営協議会 19:30 (下津一中)
5	水	6年生修学旅行① (奈良・京都)
6	木	6年生修学旅行② (奈良・京都) 1年生鍵盤ハーモニカ教室
10	月	教育実習生 (~14日)
11	火	あいさつ運動 体重測定 (低学年) クリーンパトロール (6年・中学生)
12	水	体重測定 (高学年)
13	木	歯科検診 (3・4・5・6年)
14	金	救急一般講習 (AED)
18	火	検尿1次 プール掃除
20	月	歯科検診 (幼稚園・1・2年)
25	火	あいさつ運動
26	水	ALT来校 プール開き
27	木	検尿2次
28	金	ALT来校
29	土	土曜参観・地区懇談会

※7月1日(月)振替休日